

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月 26日

都道府県知事  
~~(市長)~~ 広瀬勝貞 殿

提出者  
 住 所 大分県杵築市熊野1-111  
 氏 名 大分キャノンマテリアル株式会社  
 代表取締役社長 久木元 力  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 0978-64-2111 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大分キャノンマテリアル株式会社 杵築事業所
事業場の所在地	大分県杵築市熊野1-111
計画期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	業務用機械器具製造業
②事業の規模	一 万円
③従業員数	636 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1~6のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙7のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙8のとおり
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
別紙8のとおり		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙8のとおり
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
別紙8のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各職場及びリサイクルセンターに種類毎の分別ボックス・表示設置 <廃プラ、廃金属、廃油、廃アルカリ、汚泥、木屑、廃ガラス、廃電池、一般廃棄物>	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の種類は現状と同様 ・新規種類が発生する場合は、都度分別ボックス・表示・置き場設置	

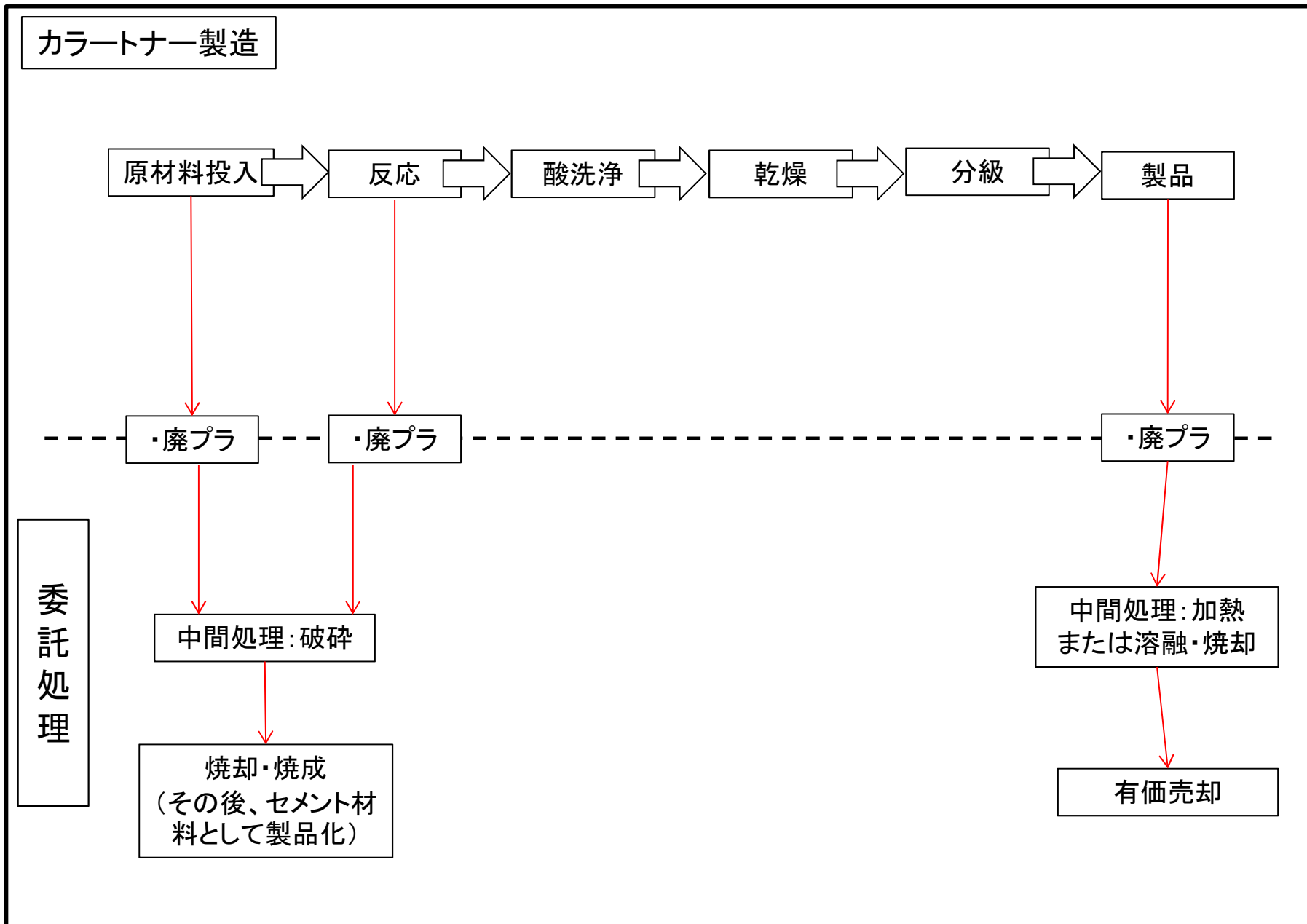
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー	ー
	(これまでに実施した取組) ー		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー	ー
	(今後実施する予定の取組) ー		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	ー
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	ー
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2969.918 t	ー
	(これまでに実施した取組) ・水処理施設から発生する汚泥の脱水化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	ー
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	ー
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2448.559 t	ー
	(今後実施する予定の取組) ・水処理施設から発生する汚泥の脱水化の促進 〈汚泥脱水機の運用見直し等〉		

## (第4面)

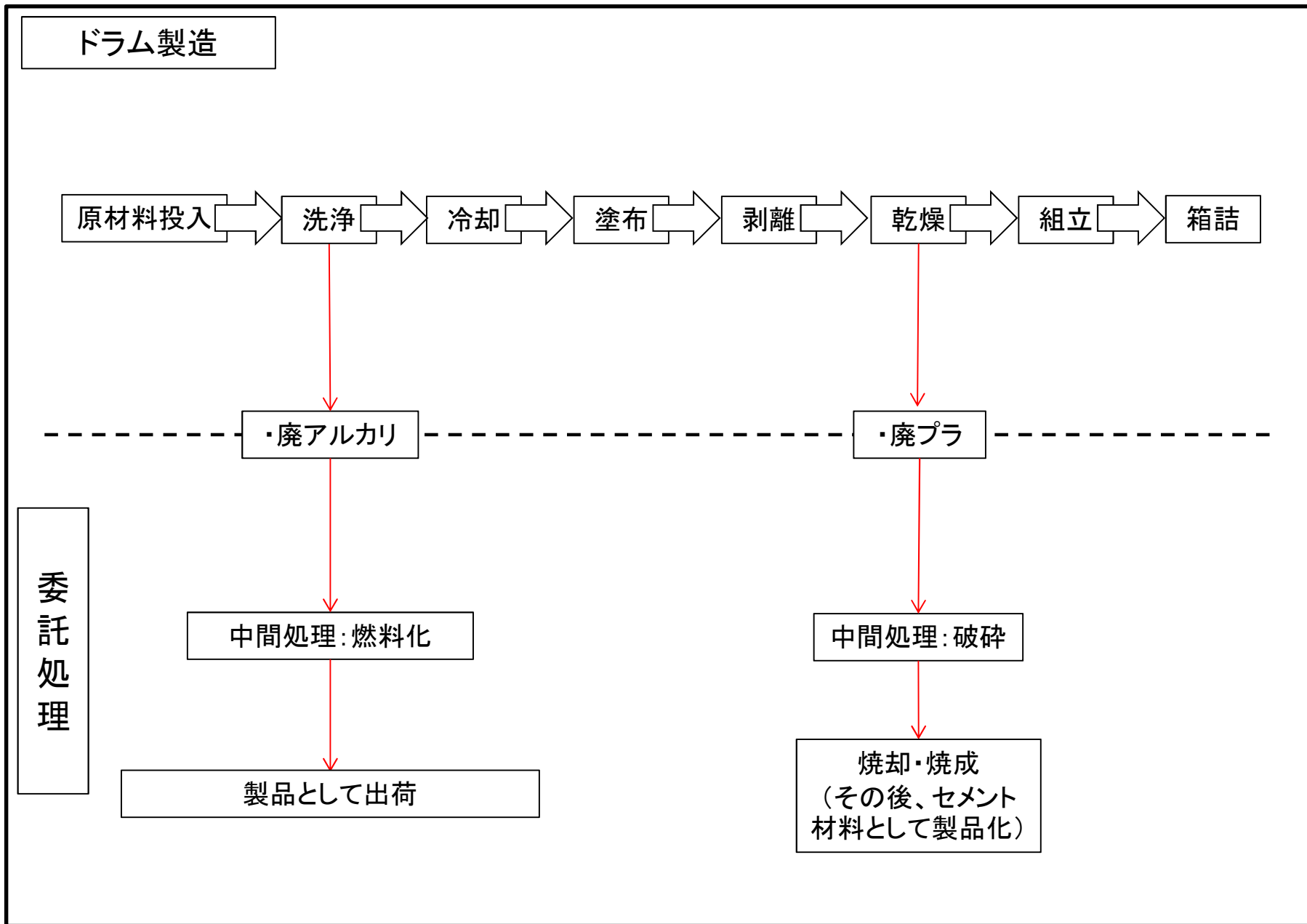
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙9のとおり	
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
(これまでに実施した取組)			
別紙9のとおり			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙9のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
(今後実施する予定の取組)		
別紙9のとおり		
※事務処理欄		

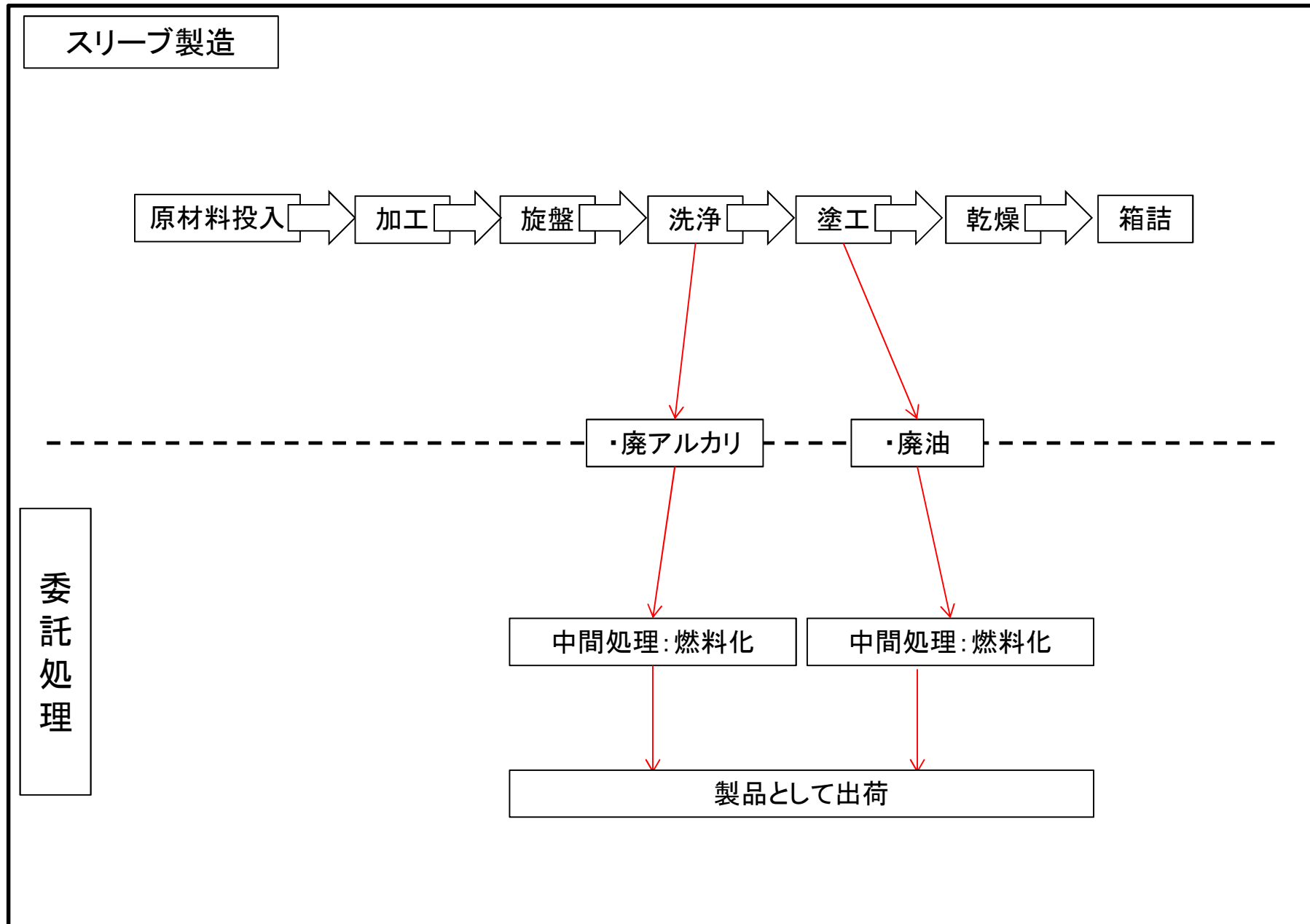
# ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程



# ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

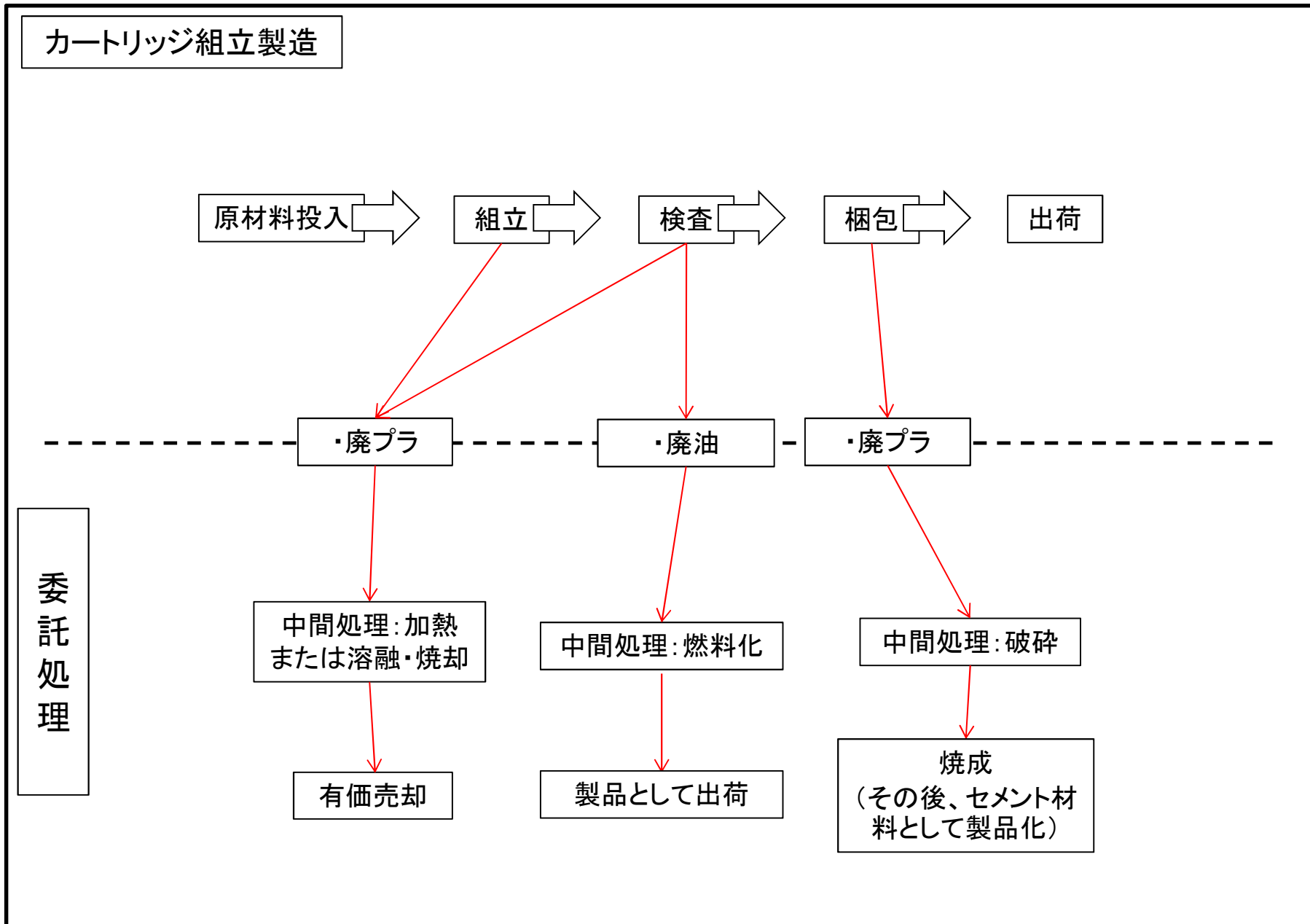


# ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

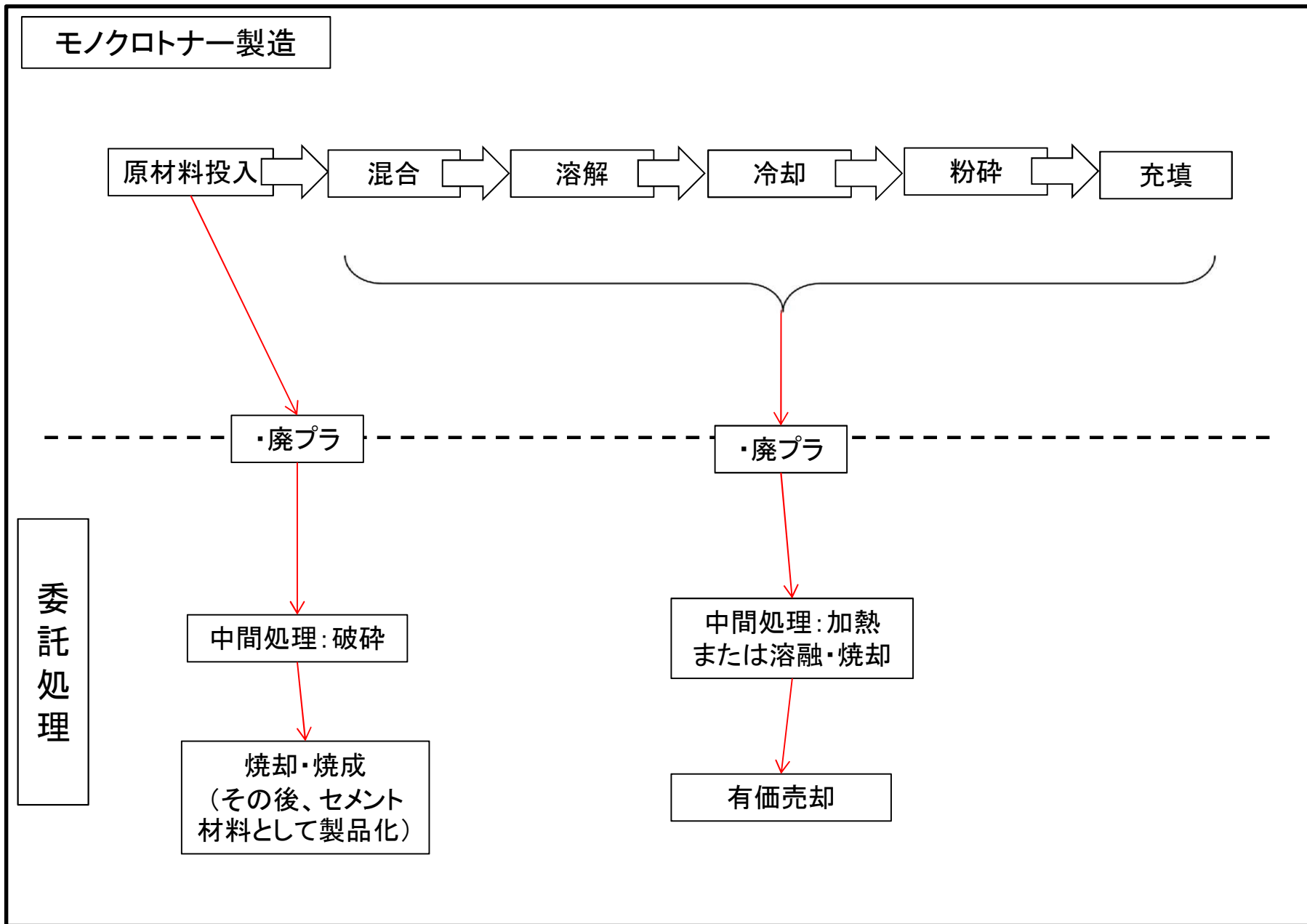




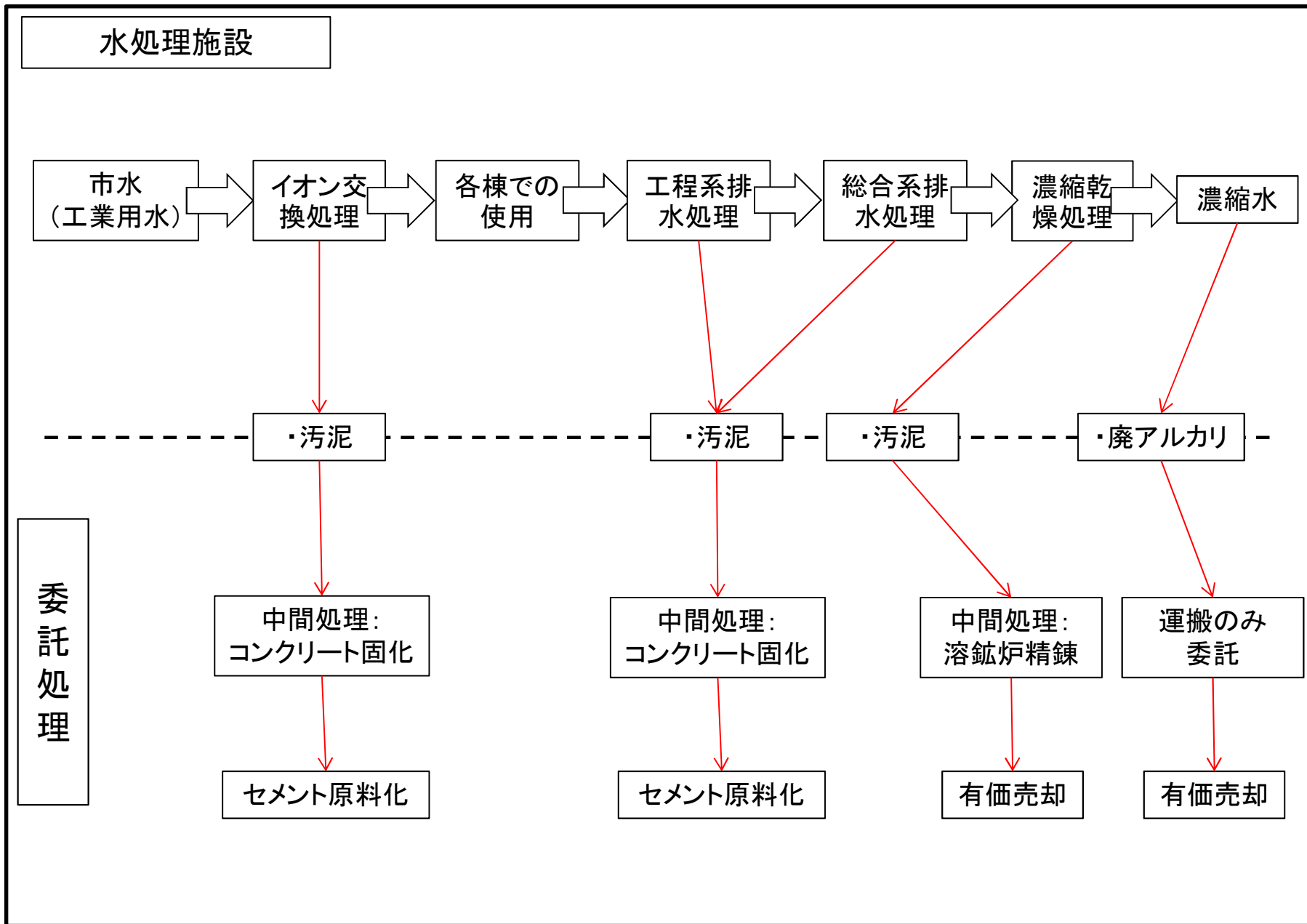
# ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程



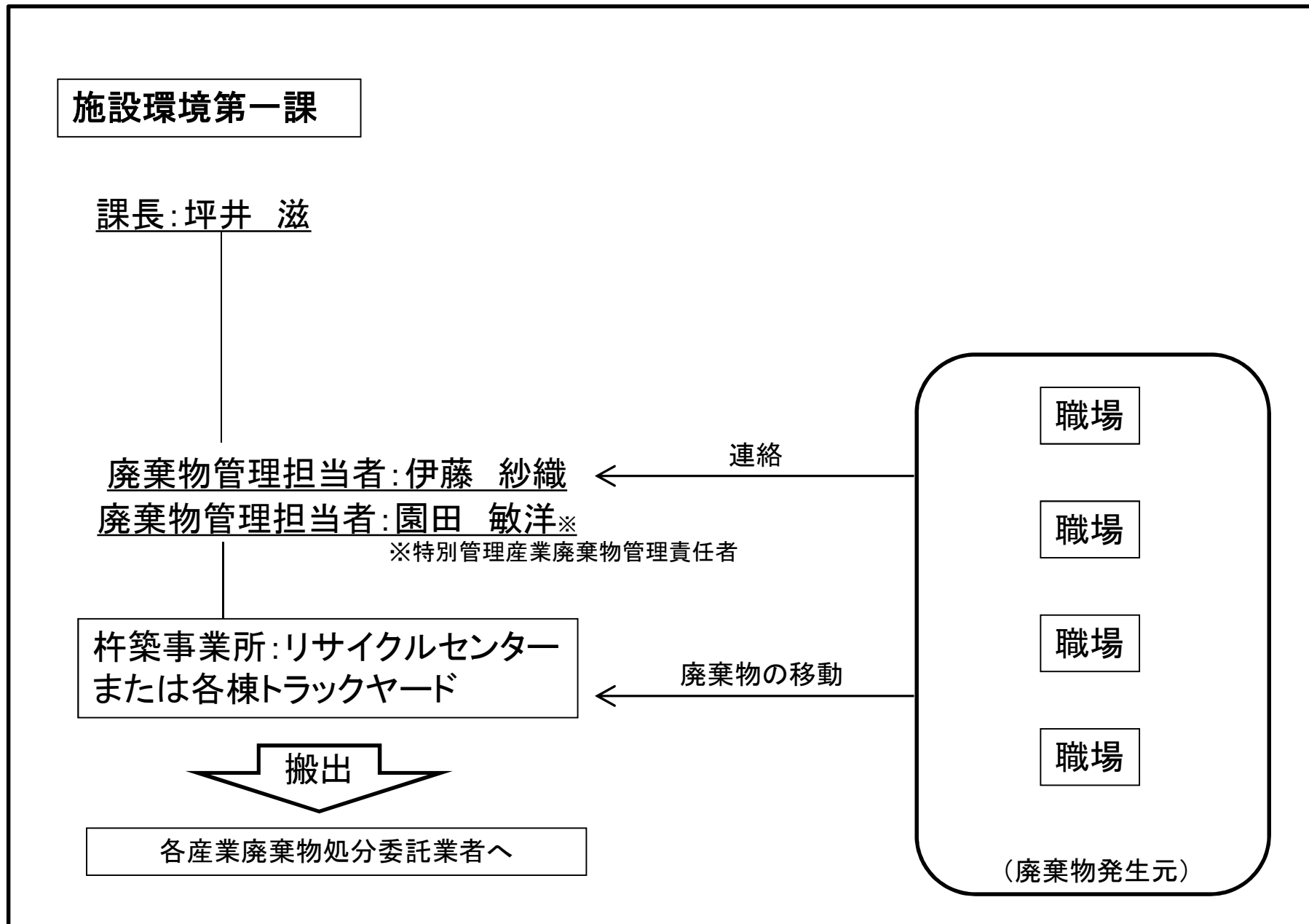
# ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程



# ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程



# 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

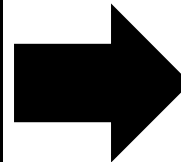


# 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

種類		廃プラスチック類	廃油	廃アルカリ	汚泥	廃金属	廃ガラス	木くず
①現状	排出量	160.590 t	7.798 t	895.217 t	3310.498 t	6.503 t	0.109 t	13.610 t
②計画	排出量	143.261 t	6.508 t	784.908 t	2709.441 t	0.000 t	0.010 t	15.880 t

## (これまでに実施した取組)

- ・「排出物削減委員会」の運営による排出量の削減  
 <検査品/不良品の数量削減等>
- ・機材/備品類等の社内リユース
- ・社員に対する廃棄物教育(意識レベルの向上)
- ・設備運用見直しによる排出量の削減
- ・廃溶剤及び濃縮塩水を原材料として有価物化
- ・使用済みカートリッジのリサイクルシステムによる部品の再利用



## (今後実施する予定の取組)

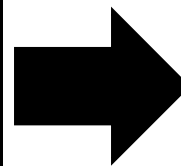
- ・「排出物削減委員会」の運営による排出量の削減  
 <新しいアイデアを随時募集・実施する>
- ・機材/備品類等の社内リユース、リデュースの促進
- ・社員に対する廃棄物教育(意識レベルの向上)  
 <適宜内容を見直し、実施する>
- ・設備運用見直しによる排出量の削減
- ・廃溶剤を原材料として有価物化
- ・使用済みカートリッジのリサイクルシステムによる部品の再利用
- ・使用する原材料、薬品等の削減

# 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

種類		廃プラスチック類	廃油	廃アルカリ	汚泥	廃金属	廃ガラス	木くず
①現状 【前年度実績】	全処理委託量	160.590 t	7.798 t	895.217 t	340.580 t	6.503 t	0.109 t	13.610 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.180 t	7.798 t	15.947 t	340.580 t	6.503 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	159.410 t	0.000 t	879.270 t	0.000 t	0.000 t	0.109 t	13.610 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
②計画	全処理委託量	143.261 t	6.508 t	784.908 t	296.618 t	0.000 t	0.010 t	15.880 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	6.508 t	24.249 t	296.618 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	143.261 t	0.000 t	760.659 t	0.000 t	0.000 t	0.010 t	15.880 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

## (これまでに実施した取組)

- ・全ての産業廃棄物は再資源化し、埋め立て処分は行わない
- ・キャノングループ基準に則って処理業者を厳格に選定し、廃棄物の適正処理を委託
- ・定期的に現場巡視を行い、廃棄物の適正処理実施を確認



## (今後実施する予定の取組)

- ・全ての産業廃棄物は再資源化し、埋め立て処分は行わない
- ・キャノングループ基準に則って処理業者を厳格に選定し、廃棄物の適正処理を委託
- ・定期的に現場巡視を行い、廃棄物の適正処理実施を確認